

# くすの木

令和3年度  
美浜町立和田小学校 学校だより  
令和3年12月10日 NO.29

3日（金）の地震は、これまで私が勤務中に経験した最も大きなものでした。もちろん子どもたちにとっては、経験したことのない揺れであったでしょう。

定期的に避難訓練をしている成果が、この日は出ていたと感じます。子どもたちは大きな揺れにびっくりしながらも、落ち着いて教員の指示に従い、運動場まで避難しました。真剣な表情で運動場に整列しました。

運動場に全員がそろそろ頃に、津波のおそれはないという情報が入りました。そこで、屋上への避難はせずに教室に戻り、授業を再開しました。後は、通常通りに過ごしました。

他所では教室の天井が落ちた等の被害を聞きましたが、本校では特に被害はありませんでした。

今回は何事でもありませんでしたが、今後も油断はできません。今回の地震を「リアルな訓練」ととらえ、より大きな地震が起きた時の備えをしていかなければならないと考えています。

学校長

## プログラミング学習

7日（火）の5時間目、3年生がプログラミング学習の授業を行いました。

赤と青の信号を点灯させたり点滅させたり、しかも点灯の時間や点滅の回数も指定して、プログラムしました。

なかなか思い通りに信号がつかないのですが、何度もやり直すと、やがて思った通りにつくようになりました。

失敗の度にどこがおかしいのか考えてプログラムを組み直す作業を通して、論理的に物事を考える力が育っていきます。



※写真中央の信号機に、パソコンで命令をして動かします。

## 人権作文発表会

2年  
「おうちのしごと」



おうちの人が留守の間にお手伝いをしたときの気持ちを発表しました。

3年  
「相手の気持ち」



友達や兄とけんかをする中から気づいた大切なことを発表しました。

4年  
「自分にとって大事なこと」



おじいさんとの思い出を通して自分にとって大事なことは何かを考え、発表しました。

5年  
「いけないこと」



いじめや差別について考え、それらをなくすために大切なことを発表しました。

6年  
「言葉の暴力」



SNSでの誹謗中傷について、2つの事例から考えた大切なことを発表しました。

教頭  
初めの言葉



開会にあたって、人権とは「安心」「自信」「自由」が守られることであると話しました。

8日（水）の1時間目、人権作文発表会を行いました。2年生から6年生の代表5名が、人権に関する作文を発表してくれました。

低学年は身近な人たちとのふれあいについて、中学年では少し深く考えて自分の内面を見つめ、高学年では社会に目を向けて人権というものを考えました。

5つの作文に共通するのは、「他の人を大切にしよう」という心です。家族でも友達でも、世の中の不特定の人々に対してでも、その人たちのことを考えて発言や行動をすることが大切で、それが自分を大切にすることにもつながると言えます。そのことを全校で認識することができた、良い発表会でした。発表者のみなさん、ありがとう。